
令和4年度

第2回 上越市青少年健全育成センター運営協議会

要 項

日 時 令和4年10月14日（金）
午後2時～4時
会 場 上越市教育プラザ 中会議室

上越市青少年健全育成センター

令和4年度 上越市青少年健全育成センター運営協議会委員名簿

No.	氏 名	推薦機関・団体名（役職等）	備考
1	石 黒 和 仁	上越市小学校長会（浦川原小学校長）	
2	山 田 稔	上越市中学校長会（潮陵中学校長）	
3	阿 部 慎	上越地区高等学校長協会（高田農業高等学校長）	
4	井 部 佐恵子	上越市民生委員・児童委員協議会連合会（民生委員・児童委員）	
5	市 川 直 行	上越地区保護司会（事務局長）	
6	山 本 克 志	上越警察署（生活安全課長）	
7	阿 部 利 夫	上越市町内会長連絡協議会（会長）	
8	小 林 榮	上越市地域青少年育成会議協議会（会長）	会 長
9	竹 内 恵 市	上越市子ども会連絡協議会（事務局長）	
10	古 川 美也子	上越市小中学校PTA連絡協議会（事務局）	
11	本 間 久美子	上越市青少年健全育成委員協議会（副会長）	副会長
12	鈴 木 真理子	上越市立教育センター（スクールソーシャルワーカー）	
13	大 堀 み き	公募委員	
14	吉 岡 智 宣	公募委員	

委員任期：令和4年6月1日から令和6年5月31日まで

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 青少年健全育成センター事業の進捗状況（4月～9月）

(2) 若者支援事業の進捗状況

(3) 情報交換

(4) その他

4 その他

5 閉 会

会議メモ

令和4年度
第2回上越市青少年健全育成センター運営協議会
資 料

1	令和4年度運営方針、活動事業計画	P 1～2
2	街頭指導の実施状況（4～9月）	P 3～5
3	特別街頭指導の実施状況	P 6
4	PTA 一日街頭指導の実施状況	P 7
5	育成委員協議会研修会	P 8
6	環境浄化活動	P 9
7	健全育成活動（社会を明るくする運動）	P 9～10
8	若者育成支援事業	P 10～14
9	第一回センター運営協議会課題	P 14

1 運営方針、活動事業計画

令和4年度 上越市青少年健全育成センター運営方針、活動事業計画

1 運営方針

- (1) 青少年の健全育成のため、関係機関との情報共有及び連絡・調整を密にする。
- (2) 青少年の非行、犯罪及び被害防止のため、声かけを中心に街頭指導活動の充実に努める。
- (3) 困難を抱える若者育成支援のため、関係機関と連携して自立支援に向けた取組を推進する。
- (4) 複雑且つ低年齢化する少年非行から子どもたちを守る一助として、環境浄化活動の推進に努める。
- (5) 青少年の健全育成に対する市民の関心や意識を高めるため、広報活動の充実に努める。
- (6) 各地域青少年育成会議の自主的な取組を促し、活動の支援に努める。

2 具体的な実施事項

(1) 関係機関・団体との連携の強化

- 小・中・高等学校・特別支援学校・警察連絡協議会との連携
- 上越警察署、上越少年サポートセンター、上越少年警察ボランティアとの連携
- 県福祉保健部児童家庭課及び県内各青少年育成センターとの連携
- 青少年健全育成関係機関・団体との連携及び協働活動の推進
- 保護司会と連携した“社会を明るくする運動”上越市推進委員会事業の推進
- 地域青少年育成会議の活動推進のための支援

(2) 街頭指導活動の充実

- 継続的な街頭指導の実施及び青パトを活用した巡回指導の充実
 - ・52人(欠員3)、10班での重点的街頭指導の実施
 - ・月2回の青パト巡回指導の実施
- 警察署、少年警察ボランティア、高校と連携した特別街頭指導の実施(7月、10月)
 - ・上越市防犯の日に合わせて南高田駅周辺と高田駅周辺で実施
- PTA一日街頭指導の実施(8月・9月)
- 育成委員の資質向上を図るための研修の実施
 - 第1回 全員研修【4月20日(水)】 教育プラザ大会議室 14:40~
講話1:「上越市における青少年の現状と課題」講師:上越警察署生活安全課長
講話2:「街頭指導の心得と実践」講師:上越少年サポートセンター所長
(青パト研修) 新任者がいないので今年度はなし
(県民大会) 【7月16日(土)】→**11月14日(月)に変更**
 - 第2回 全員研修【8月25日(木)】 教育プラザ大会議室 14:00~16:00
講話 子どもへの虐待について
講師 上越市すこやかにくらし包括支援センター 板垣 綾子 主任
 - 第3回 全員研修【10月31日(月)】 13:30~15:30
講話 新潟少年鑑別所(新潟法務少年支援センター)の役割と街頭指導に望むこと
講師 新潟少年鑑別所(新潟法務少年支援センター) 平井 元 首席専門官
- 育成委員の車輛に「子ども安全パトロール中」のマグネットシート着用を依頼し、「ながらパトロール」を実施

(3) 若者育成支援事業の推進

- 若者相談「若者ほっとライン」の周知徹底【継続】
 - ・市ホームページの更新、市施設へのチラシの配置
 - ・中学3年生へのチラシの配布、高等学校への配置と関係生徒への配付
- 若者の居場所(Fit)の開設と対応の充実【拡充】
 - ・場所:教育プラザ内
 - ・時間:月~金曜日 午前9時~午後5時(土・日曜日・祝日及び年末年始休日を除く)

- ・内容：若者の自立支援活動、相談、対応等の実施
*NPO 法人えちご若者元気塾と連携し、希望者は「北出丸」での活動にも参加

○ 「上越市親の会」の開催【継続】

- ・年6回開設（5月・7月・9月・11月・1月・3月）
- ・場所：教育プラザ 大会議室

○ 若者育成支援進路研修（義務教育終了後の進路を考える）【継続】

- ・期日：令和4年8月2日（火）午後1時30分～3時30分
- ・会場：教育プラザ 研修室
- ・対象：中学校3年生及び保護者、中学校教職員他
- ・参加学校：通信制学校等4校

○ 若者支援者研修の開設（5講座）【継続】

- ・目的 若者支援関係機関及び民間支援団体や希望する市民から参加してもらい、若者支援についての資質、能力の向上を図る。

将来、若者育成支援活動を支える人材を育成するための学びの場とする。

- ・対象 若者支援関係機関及び民間支援団体関係者、関心のある市民

- ・会場 教育プラザ 研修棟 大会議室 50名程度

- ・内容

① 8月28日（日）ひきこもりを理解する	上越大学大学院	五十嵐透子
② 9月10日（土）支援者と家族の関係づくり	上越市教育委員会	梶原亜紀子
③ 10月23日（日）有効なひきこもり支援とは	長岡崇徳大学	齊藤まさ子
④ 11月26日（土）それぞれの生き方に寄り添う支援	みんなで生きる	松田 清司
⑤ 12月17日（土）上越市のひきこもり支援の現状と課題		

すこやかなくらし包括支援センター、浦川地域包括支援センター、青少年健全育成センター

(4) 環境浄化活動の実施

- 有害図書類販売店、有害図書类等自動販売機等の立入調査の実施と指導
- 有害図書类等自動販売機撤去の継続的な取組の実施

※「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」は今年度より廃止

(5) 広報活動の充実

- 「青少年健全育成のあゆみ」の作成・配布（4月予定）
- 「青少年健全育成委員協議会だより」の発行（6・10・2月予定）
- 「青少年健全育成センターだより『愛育』」の発行（7・12・3月予定）
- 広報上越及び市ホームページ、報道機関での情報提供（随時）

(6) 地域青少年育成会議活動推進のための支援

- コーディネーター委員会の活動支援
- 地域青少年育成会議実践事例発表及び意見交換会等の活動支援

3 その他

- 若者の居場所（Fit）を中核とする若者育成支援事業を重点的に推進する。

2 街頭指導の実施状況

令和4年度 4月・5月の街頭指導結果 ()は昨年度実績

	4 月				5 月				
	1 出動回数	高田地区	6	(7)	高田地区	5	(7)	直江津地区	6
	直江津地区	6	(7)	直江津地区	6	(7)	合計	11	(14)
	合計	12	(14)	合計	11	(14)			
2 出動延人数	高田地区	21	(28)	高田地区	22	(26)	直江津地区	27	(25)
	直江津地区	25	(27)	直江津地区	27	(25)	合計	49	(51)
	合計	46	(55)	合計	49	(51)			
3 注意・指導をした延人数	幼 児	0	(5)	幼 児	14	(2)	小学生	15	(6)
	小学生	10	(12)	小学生	15	(6)	中学生	15	(7)
	中学生	14	(4)	中学生	15	(7)	高校生	19	(24)
	高校生	13	(12)	高校生	19	(24)	計	63	(39)
	計	37	(33)	計	63	(39)			
4 主な内容	幼 児	小学生	中学生	高校生	幼 児	小学生	中学生	高校生	
ジベタリアン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (2)	
ゲーム機遊び	0 (5)	10 (12)	11 (4)	5 (0)	14 (2)	15 (6)	9 (7)	0 (12)	
カラオケ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
歩きスマホ	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (5)	
交通ルール	0 (0)	0 (0)	3 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	2 (5)	
喫 煙	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
5 挨拶・よびかけをした延人数	幼児	0	(40)	幼児	13	(34)	小学生	451	(433)
	小学生	507	(619)	小学生	451	(433)	中学生	335	(246)
	中学生	341	(156)	中学生	335	(246)	高校生	219	(255)
	高校生	233	(337)	高校生	219	(255)	計	1,018	(968)
	計	1,081	(1,152)	計	1,018	(968)			
3・5の集計	合計	1,118	(1,185)	合計	1,081	(1,007)			

4 月	5 月
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのあいさつよい(5)。 ゲーム場は春休みで子どもも多くいた(特に高校生)。花見会場は子どもたちが多かった。ふわふわドームは子どもたちが多くいた。 立体駐車場の屋上にびんのかげらが多数あり、拾って処分した。1階の管理人に報告しておいた。 高田駅前駐車場屋上エレベータを降りて右手奥にいつもたむろしている青少年はいなかった。タバコ吸い殻10~20本、タバコの空ケース、ジュース缶、紙パックが散乱していた。自転車の交通ルール、歩きスマホを注意した。 中学生の自転車2人乗り、右側通行について注意した(2)。 自転車に乗っている子どもたちは、歩道・車道を走り抜け、やや左右の注意がおろそかになっている感じがした。注意を促すと応答し、安全に気を付けていた。巡回路にはごみの散乱が目立ち、ごみ拾いを行った。 ゲームセンターに多くの親子連れがいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 声掛けができた(3)。元気のいい挨拶が返ってきた(5)。中学生の方から挨拶してくれた(1)。 高田駅前駐車場は前回に比べると清掃がゆきとどいていた。タバコの吸い殻、マスク、弁当の空箱等落ちていた。1Fエレベータ横のゴミ箱がいっぱいだった。雁木走行の自転車乗りが多かった。 雅子妃の森公園東屋にタバコの吸い殻18本(3種類)空箱1が散乱していた。拾い集めて回収した。 タバコの吸い殻が直江津駅横の公衆トイレに散らかっていた。たこ公園では久しぶりに小学生が遊んでいた。セブンイレブン、ゲオ、無印良品では学生はいなかった。 散歩中の市民の方との会話で私達の活動を理解していただいた。 ゲームセンターでは高校生が極端に少なかった。 下門前の子どもの家では、子どもが4名ほど室内におり、町内の方と話していた。デポや各店舗にはお客様が多い。

令和4年度 6月・7月の街頭指導結果

()は昨年度実績

	6 月				7 月			
1 出動回数	高田地区	6	(6)	高田地区	6	(7)		
	直江津地区	6	(7)	直江津地区	6	(7)		
	合計	12	(13)	合計	12	(14)		
2 出動延人数	高田地区	22	(23)	高田地区	25	(27)		
	直江津地区	26	(26)	直江津地区	23	(29)		
	合計	48	(49)	合計	48	(56)		
3 注意・指導をした延人数	幼 児	4	(0)	幼 児	0	(3)		
	小学生	12	(0)	小学生	6	(4)		
	中学生	5	(0)	中学生	18	(16)		
	高校生	16	(21)	高校生	38	(23)		
	計	37	(21)	計	62	(46)		
4 主な内容	幼 児	小学生	中学生	高校生	幼 児	小学生	中学生	高校生
ジベタリアン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (6)
ゲーム機遊び	4 (0)	10 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (3)	6 (4)	8 (0)	0 (0)
カラオケ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)
歩きスマホ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (5)	0 (10)
交通ルール	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (11)	30 (5)
喫 煙	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
5 挨拶・よびかけをした延人数	幼児	15	(30)	幼児	8	(11)		
	小学生	603	(781)	小学生	336	(583)		
	中学生	124	(430)	中学生	195	(253)		
	高校生	202	(209)	高校生	271	(440)		
	計	944	(1,450)	計	810	(1,287)		
3・5の集計	合計	981	(1,471)	合計	872	(1,333)		

6 月	7 月
<ul style="list-style-type: none"> 電車から降りてきた高校生に対し声掛けをしたら2～3割の生徒から「おつかれさんです」「がんばってます」「期末テストが近いので勉強頑張ります」などと元気な声が返ってきた(春日山駅)。子どもの返事がよい(2)。 高田駅前立体駐車場屋上、エレベータを降りて左側に男子2人、女子1人が座り込んで飲食していた。声掛け、ごみの後始末等お願いし、早目に帰宅するよう声掛けした。 高田駅前立体駐車場屋上に吸い殻が多数あった。屋上で男女の集団がタバコを吸っている、駅入口でジベタリアンを含め、若者が集団でたむろしている等の情報を得た。高田駅に午後7～8時に子どもが集まるとの情報もある。 男子小学生2人が自転車で右側通行していたので注意した。稚子妃の森公園東屋にタバコの吸い殻7本、空箱1箱が散乱していたので回収した。 春日山駅前公衆トイレのトイレトペーパーが何者かに燃やされた事案について駅員と面談した。 ゲームセンターで子どもが多く見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 声掛けに挨拶を返してくれた、多く声掛けできた(3)。 猛暑の中パトロールをした(2)。 稚子妃の森公園東屋にタバコの吸い殻2、3本散乱していたので回収した。 高田駅前立体駐車場にアイスのごみ、タバコの吸い殻が多く落ちていたので回収した。 歩道通行(自転車)などを注意した。ほとんどが素直にあいさつをしていた。ライブワンでは子どものみゲームをしていたが、親と一緒にのことだった。 ゲームセンターに市内中学校2校の自転車が4台ずつあった。外は暑いのでゲームセンターに親子連れも6組いた。 ゲームコーナー(イオン)では親子連れの幼児、小、中学生が多い。 春日山駅で多くの高校生に声掛けができた。缶、ペットボトルが落ちていた。数が多かった。タバコの吸い殻は、特に公園駐車場に多く落ちていた。

令和4年度 8月・9月の街頭指導結果

()は昨年度実績

	8 月				9 月				
	1 出動回数	高田地区	8	(10)	高田地区	8	(10)	直江津地区	7
	直江津地区	9	(10)	直江津地区	7	(10)	合計	15	(20)
	合計	17	(20)	合計	15	(20)			
2 出動延人数	高田地区	30	(38)	高田地区	27	(33)	直江津地区	28	(40)
	直江津地区	34	(39)	直江津地区	28	(40)	合計	55	(73)
	合計	64	(77)	合計	55	(73)			
3 注意・指導をした延人数	幼 児	12	(0)	幼 児	5	(3)	小学生	20	(16)
	小学生	22	(19)	小学生	20	(16)	中学生	11	(26)
	中学生	42	(22)	中学生	11	(26)	高校生	15	(71)
	高校生	0	(54)	高校生	15	(71)	計	51	(116)
	計	76	(95)	計	51	(116)			
4 主な内容	幼 児	小学生	中学生	高校生	幼 児	小学生	中学生	高校生	
ジベタリアン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (18)	
ゲーム機遊び	12 (0)	22 (19)	42 (18)	0 (37)	5 (3)	18 (16)	11 (6)	3 (0)	
カラオケ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
歩きスマホ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (23)	
交通ルール	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (2)	0 (0)	2 (0)	0 (20)	0 (30)	
喫 煙	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
5 挨拶・よびかけをした延人数	幼児	33	(38)	幼児	8	(55)	小学生	386	(742)
	小学生	57	(91)	小学生	386	(742)	中学生	430	(453)
	中学生	100	(94)	中学生	430	(453)	高校生	413	(593)
	高校生	141	(165)	高校生	413	(593)	計	1,237	(1,843)
	計	331	(388)	計	1,237	(1,843)			
3・5の集計	合計	407	(483)	合計	1,288	(1,959)			

8 月	9 月
<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの暑い日で、子どもたちの姿が少なかった(8)。 ・部活帰りの生徒が元気よく声掛けをしてくれた。 ・高田駅立体駐車場にはタバコの吸い殻が落ちていて回収した(2)。 ・高田駅から仲町踏切までの間に多数のごみがあった。 ・本町通りにて自転車の並行走行があった。 ・高田駅前にて電車待ちの女子高生が座り込んでいた。 ・屋内施設、ゲームコーナーなどに親子連れが多かった(4)。 ・道路に倒れている高齢者を家に送り届けて家族に連絡した。 ・雅子妃の森公園東屋にタバコの吸い殻、ろうそく、マスク等が散乱していて回収した(2)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けに元気よく挨拶してくれた(6)。礼儀正しさに感心した。 ・高田駅前に停まっているキッチンカーで高校生が買い食いしていた(2)。 ・高田駅前立体駐車場にはタバコの吸い殻、ガラス瓶の破片が散乱していた。 ・小学生が自転車で右側通行していたので注意した。素直に応じた。 ・猛暑と台風の強風のため街頭指導を中止した(2)。 ・雅子妃の森公園では多数の空き缶、ペットボトル、吸い殻、ゴミがあった。 ・ジベタリアンが高田駅前に6人いた(※別日にも6人)。 ・幼い子ども連れ家族が買い物やゲームを楽しんでいた。

3 特別街頭指導の実施状況

	第 1 回	第 2 回
日 時	令和4年7月8日(金) 15:30~17:30	令和4年10月6日(木) 15:30~17:30
場 所	・トキめき鉄道南高田駅周辺	・トキめき鉄道高田駅周辺
参加団体	<ul style="list-style-type: none"> ・上越地区少年警察ボランティア ・上越警察署生活安全課 ・青少年健全育成委員 ・青少年健全育成センター (協力をお願いする学校・各校1人) <ul style="list-style-type: none"> ・高田南城高校 ・高田商業高校 ・高田農業高 ・関根学園高校 	<ul style="list-style-type: none"> ・上越地区少年警察ボランティア ・上越少年サポートセンター ・上越警察署生活安全課 ・青少年健全育成委員 ・青少年健全育成センター (協力をお願いする学校・各校1人) <ul style="list-style-type: none"> ・高田高校 ・高田北城高校 ・上越総合技術高校 ・上越高校 ・直江津中等教育学校
集合場所	・南高田駅前	・高田駅(駅前交番付近)
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・南高田駅の利用状況、マナー ・自転車乗り ・南高田駅周辺の街頭指導 ・その他 状況判断し指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・高田駅の利用状況 ・自転車乗り ・高田駅周辺の街頭指導 ・その他 状況判断し指導

※ 上越警察署提供の啓発用チラシ付きティッシュの配布を行い、指導・呼びかけを実施。

第1回特別街頭指導の様子：「育成委員協議会だより」より

7月8日(金)、「上越防犯の日」に合わせて南高田駅周辺で第1回特別街頭指導を実施しました。育成委員と少年警察ボランティア、上越警察署生活安全課、少年サポートセンター、市内高校4校教員の皆さん、合わせて19人で、南高田駅を利用する高校生を中心に声掛けを行いました。

駅の利用状況に特に問題は見られず、挨拶の声掛けに返事を返すなど、全体としてマナーのよい生徒の姿が多く見られました。歩道を自転車で走行する生徒が目立ち、指導しましたが、交通量が多く、道路を自転車で走行するのが怖いという意見も指導者側から出されました。



間嶋石油店前での指導・声掛け



実施後情報交換

4 PTA 一日街頭指導の実施状況

(1) 実施期間 令和4年8月1日～9月30日

(2) 実施日・参加人数

8月							
日	曜	区	参加PTA	参加者数			
				PTA	委員	計	
2	火	D	八千浦小	1	5	8	
			諏訪小	1			
			潮陵中	1			
5	金	A	高田西小	1	5	8	
			和田小	1			
			城北中	1			
		D	直江津南小	1	3	6	
			名立中	1			
			吉川中	1			
6	土	F	八千浦中	1	5	6	
8	月	A	東本町小	1	5	8	
			三和中	1			
			保倉小	1			
10	水	C	牧中	1	4	7	
			春日小	2			
20	土	B	清里中	1	3	4	
			E	里公小	1	4	6
				直江津東中	1		
26	金	C	高志小	1	4	6	
			春日小	1			
27	土	F	北諏訪小	1	3	5	
			頸城中	1			
29	月	A	飯小	1	4	5	

9月						
日	曜	区	参加PTA	参加者数		
				PTA	委員	計
2	金	C	春日中	1	4	5
3	土	B	板倉中	1	3	4
			春日新田小	1	4	6
			国府小	1		
7	水	C	明治小	1	4	5
9	金	D	直江津小	1	4	5
10	土	B	高士小	1	3	4
			南川小	1	5	6
12	月	A	城東中	1	3	5
			豊原小	1		
16	金	A	三郷小	1	3	4
合 計				35	78	113

※9月6日(火) 大瀧町小 PTA 参加予定の街頭指導は台風接近に伴う強風のため中止しました。

(表中の「委員」は青少年健全育成委員)

<街頭指導コース>

- A：高田駅周辺、立体駐駐輪場、本町通りなど
- B：ウイングマーケット周辺、ドン・キホーテなど
- C：春日山駅、謙信公広場、原信、雅子妃の森など
- D：直江津駅周辺、直江津ショッピングセンターなど
- E：イオンスーパー、ゼビオ、デポ、アピナなど
- F：イオン上越店周辺、蔦屋書店、ジョーシンなど

<参加PTA>

- ・小学校 20校
- ・中学校 13校
- 計 33校

(3) 参加者の感想

参加者の感想で多かったのは次のもの

- ・子どもの数が少なかった、子どもに会わなかった。
- ・猛暑だった、他の時期にしたらどうか。
- ・子どもの挨拶や返事が良くて感心した。
- ・勉強になった。今後の活動に活かしたい。
- ・子どもを見守っている育成委員の方々に感謝したい。

(4) 今後について

これまでの「PTA 一日街頭指導」は、今年度をもって終了とし、来年度以降は内容を変更して実施する。その理由は次のとおり。

このPTA 一日街頭指導は、校外における子どもたちの生活や行動の現状を把握し、今後の校外生活の指導に役立てていただくことがねらいであったが、近年のPTA 一日街頭指導では、次の実態が見られる。

- 街頭指導で子どもに出会うことが少なくなった。(子どもが屋外で遊ぶことが減って、屋内でゲーム等をして遊ぶことが増えたことが一因と思われる)
- 街頭指導で非行行為が見られなくなった。(SNSでの問題は増加している)
- 実施期間8、9月に猛暑日が多くなり、PTA一日街頭指導参加者から、この時期での実施に疑問を感じるという意見が寄せられている。
- 新型コロナウイルス感染予防や仕事の関係から、参加予定者のキャンセルが多い。

PTA一日街頭指導に参加しても、子どもの姿があまり見られないという実態があり、PTA一日街頭指導のねらいである「校外における子どもたちの生活や現状を把握する」ことは、「一回の体験では困難」となっている。そのため、後日、「学校で校外生活の指導に役立てる」というねらいも達成しにくいものとなっている。

また、子どもが屋外で活動する姿が多く見られるように設定している夏休み期間中の街頭指導は、近年、猛暑日が多くなり、参加者の負担となることがある。

さらに新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者となった方や仕事の都合で参加できなくなった方からの連絡は10件以上あり、全学校に積極的に参加いただくようご案内し、PTAの方々から参加いただく本事業が時代にそぐわなくなってきたことを感じている。

5 育成委員協議会研修会

第1回研修会

- 1 日時 令和4年4月20日(水) 14:40～
- 2 会場 教育プラザ研修室
- 3 参加者 育成委員41人
- 4 内容 講話1:「上越市における青少年の現状と課題」講師:上越警察署生活安全課 山本課長
講話2:「街頭指導の心得と実践」 講師:上越少年サポートセンター 上村所長

第2回研修会

- 1 日時 令和4年8月25日(木) 14:00～16:00
- 2 会場 教育プラザ 研修棟3階 大会議室
- 3 参加者 育成委員34人
- 4 内容
 - (1) テーマ: 子どもへの虐待の状況について
 - (2) 講師: 上越市すこやかなくらし包括支援センター 板垣 綾子 主任
 - (3) 講話概要
 - ① 上越市における児童虐待の現状
 - ② 児童虐待の対応について

第3回研修会(予定)

- 1 日時 令和4年10月31日(月) 13:30～15:30
- 2 会場 教育プラザ 研修棟3階 大会議室
- 3 内容
 - (1) テーマ: 新潟少年鑑別所(新潟法務少年支援センター)の役割と街頭指導に望むこと
 - (2) 講師: 新潟少年鑑別所(新潟法務少年支援センター) 平井 元 首席専門官

6 環境浄化活動

1 社会環境実態調査→今年度から廃止

2 立入調査

令和4年9月28日（水）（図書類自動販売機 3台）

No.	予定時間	店舗名/設置箇所	参加者
1	9:30から 10:00まで	有限会社 北陸自販 上越市三和区下中 1237 番地 (3台)	・北陸自販担当者 ・上越警察署生活安全課係長 ・杉原調査員 ・センター所長、指導員

県青少年健全育成条例に基づく立ち入り調査を上記の内容で行った。現地にて全販売物品を調べ条例に対する違反がないことを確認した。また、販売所やその周辺の整理状況、「18歳未満立ち入禁止」表示などについても確認したが、全般によく整備されていた。

調査後、上越警察署生活安全課係長から設置業者に対して、「法にふれるものはなかった。今後も引き続き条例を遵守するように」との指導があった。

7 健全育成活動（社会を明るくする運動）

第72回“社会を明るくする運動”

上越市青少年健全育成センター曾我、池田は社会を明るくする運動の事務局として各活動に参加

[上越市推進委員会]

- ・日時 6月2日（木）13:45～14:45
- ・会場 上越市教育プラザ大会議室
- ・内容 役員体制の確認、事業報告・決算報告、事業計画・予算の審議他
- ・参加者 34人（育成委員協議会長参加）



推進委員会（6月2日）

[宣伝用懸垂幕掲示]

- ・市内2箇所 市役所木田庁舎
大手町ひろば（高田郵便局隣）

[街頭宣伝活動]

○ 高田地区

- ・日時 7月2日（土）9:30～
出発式 高田まちかど交流館
- ・活動場所 二七の市（大町通り）、上越モール
イレブンプラザ、イオン
- ・参加者 38人（育成委員5人参加）
- ・内容 広告入り抗菌ウェットティッシュの配布

○ 直江津地区

- ・日時 7月3日（日）9:30～
出発式 直江津レインボーセンター



懸垂幕掲示（大手町ひろば）

- ・活動場所 三八の市、水族博物館
直江津ショッピングセンター
- ・参加者 23人 (育成委員4人参加)
- ・内容 広告入り抗菌ウェットティッシュの配布



出発式 会長挨拶 (高田・7月2日)



街頭宣伝活動 (直江津・7月3日)

[上越市青少年健全育成研究会]

「地域における青少年の健全育成」をテーマに、子どもたちの健全な育成のために果たす地域の役割などを中心に研究協議を行い、犯罪のない明るい地域社会づくりについて考えました。

- ・日時 7月18日(月) 海の日 10:00~
- ・会場 柿崎コミュニティプラザ4階ホール
- ・参加者 48人
- ・内容 実践発表 柿崎区青少年育成会議、大湊の子どもを育てる会
吉川区青少年育成会議
意見交換
講評 新潟保護観察所上越駐在官事務所 主任保護観察官

[その他]

- ・ポスター掲示など日常の啓発活動を実施

8 若者育成支援事業

若者育成支援事業の進捗状況 (4月1日~9月30日)

1 若者支援活動の広報(若者の居場所Fit、相談活動、親の会開催等の周知)

- (1) ポスターの掲示、チラシの配布、市ホームページへの掲載など
- (2) 小・中・高等学校との連携・・・校長会等での説明、保護者あての文書の配布など

2 若者の居場所 (Fit) の利用

(1) 利用回数

	回数	実数
4月	19回	9人
5月	13回	8人
6月	17回	9人
7月	25回	12人
8月	18回	9人
9月	36回	11人
合計	128回	

(2) Fit 対象者年齢層

年齢層	男	女	合計
15~18歳	0	1	1人
19~25歳	5	6	11人
26~30歳	3	1	4人
31歳以上	0	1	1人
合計	8	9	17人

(昨年同時期 120回、利用者13人)

- (3) 内 容 相談、学習支援、交流活動 など
 (4) 場 所 教育プラザ1階



- (5) その他
 教育プラザ1階の部屋を若者の居場所Fitとして固定して利用できている。相談担当の職員がおり、Fitの運営体制が整っている。

3 相談・面談活動 (Fitを含む)

(1) 相談回数

	回数	人数
4月	25回	12人
5月	18回	10人
6月	18回	10人
7月	28回	13人
8月	24回	10人
9月	41回	13人
合計	154回	

(2) 相談対象者年齢層

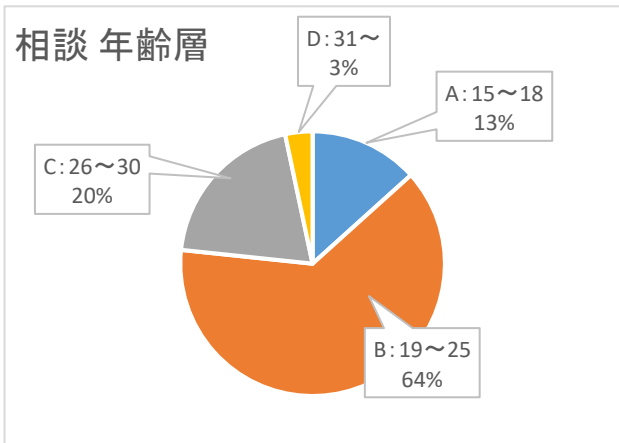
年齢層	男	女	合計
15～18歳	2	2	4人
19～25歳	11	8	19人
26～30歳	4	2	6人
31歳以上	0	1	1人
合計	17	13	30人

(昨年同時期 158回、20人)

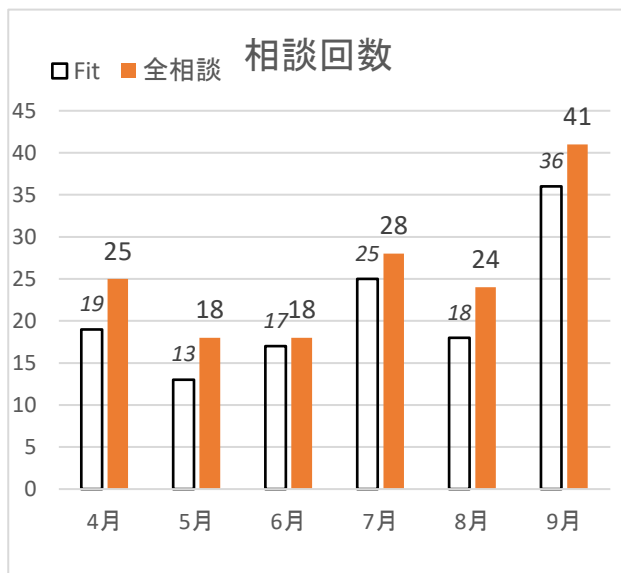
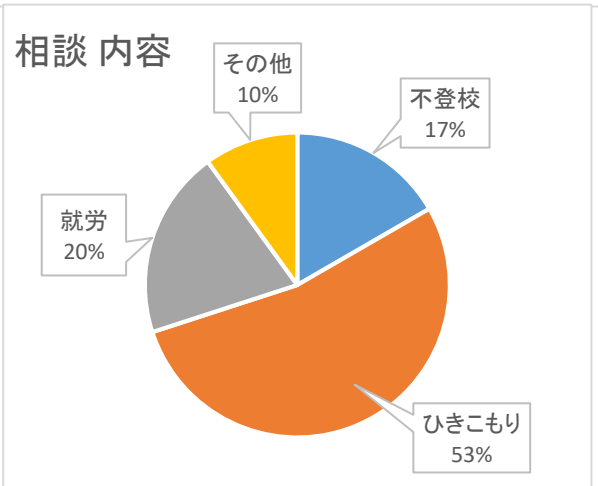
(3) 主な相談内容

相談内容	男	女	合計
不登校(傾向)	3	2	5人
ひきこもり	9	7	16人
就 労	3	3	6人
その他	2	1	3人
合計	17	13	30人

相談 年齢層



相談 内容



(4) まとめ

- Fit の利用回数は前年度より8回増加し、相談対象者は昨年度13人から今年度17人と31%大幅に増加した。
 - Fit を含む全相談件数は前年度並みだが、相談対象者は昨年度20人から今年度30人と50%増加した。
 - 相談年齢層は、15～18歳は昨年度35%だったが、今年度は13%に減っている。19～25歳は昨年度50%だったが、今年度は64%に増えている。26～30歳は昨年度15%だったが、今年度20%に増えている。31歳以上は昨年度0%だったが、今年度3%に増えている。
 - 相談内容は、「ひきこもり」が最も多く、昨年度の25%から53%に増加した。昨年度最も多かった「就労」は35%から20%に減少した。
- 以上をまとめると、Fit 利用者・相談者は増え、高齢化し、ひきこもり相談が増えている。

4 「上越市の親の会」の開催

不登校やひきこもりなど、子どもへの悩みをもつ親同士が語り合い支え合いながら、問題の解決へとつなげようとする活動（令和元年度6回開催、令和2年度4回開催：2回中止、令和3年度6回開催）

(1) 第1回親の会

- ① 開催日時 令和4年5月14日（土）13:30～16:00
- ② 会場 上越市教育プラザ（大会議室）
- ③ 参加者 19人（一般参加者10人、ピアサポーター5人、カウンセラー1人、センター職員3人）
- ④ 主な内容 グループ懇談（3グループ）、個別相談（1人）
- ⑤ 参加の感想 気持ちを話して心が軽くなった（5）、子どもの気持ちを理解したいと思った（4）、自分だけじゃないと思えた（4）、子どもと向き合う元気をもらった（3）、誰かに話を聞いてほしかった（1）、相談できる場が増えた（4）（複数回答）

(2) 第2回親の会

- ① 開催日時 令和4年7月9日（土）13:30～16:00
- ② 会場 上越市教育プラザ（大会議室）
- ③ 参加者 14人（一般参加者7人、ピアサポーター4人、カウンセラー1人、センター職員2人）
- ④ 主な内容 グループ懇談（3グループ）、個別相談（なし）
- ⑤ 参加の感想 気持ちを話して心が軽くなった（6）、子どもの気持ちを理解したいと思った（4）、自分だけじゃないと思えた（6）、子どもと向き合う元気をもらった（3）、誰かに話を聞いてほしかった（1）、相談できる場が増えた（3）（複数回答）

(3) 第3回親の会

- ① 開催日時 令和4年9月3日（土）13:30～16:00
- ② 会場 上越市教育プラザ（大会議室）
- ③ 参加者 13名（一般参加者5人、ピアサポーター5人、カウンセラー1人、センター職員2人）
- ④ 主な内容 グループ懇談（1グループ）
- ⑤ 参加の感想 気持ちを話して心が軽くなった（3）、自分だけじゃないと思えた（1）、子どもと向き合う元気をもらった（1）（複数回答）

（今後の予定）

第4回 令和4年11月5日（土）、第5回 令和5年1月7日（土）

第6回 令和5年3月11日（土）

5 若者育成支援進路研修 ～義務教育終了後の進路を考える～

様々なニーズがある中で義務教育終了後の進路を考えるために、通信制高校など多様な学びの場があることを理解するとともに、具体的にどのような学校があるのかを紹介するための研修。

- (1) 開催日時：令和4年8月2日（火） 13:30～15:30
- (2) 会場：上越市教育プラザ 研修室
- (3) 対象：上越市内中学校3学年保護者、進路問題に悩みを抱える保護者、中学校教職員 他
- (4) 内容：
 - ① 開会式・研修の趣旨説明 青少年健全育成センター所長
 - ② 学校紹介（参加校4校）
 - ・井手塾中央高等学院高校
 - ・つくば開成学園高校
 - ・第一高等学院高校
 - ・県立高田南城高校
- (5) 参加者など
 - ・参加者49人（保護者31人、生徒13人、教員5人）



進路研修（参加59人）



各学校の説明

6 若者支援者研修

青少年の健全育成や若者の自立支援に必要な知識や技能を身に付け、支援活動に携わる方のスキルアップを目指すための研修。（令和元年度から5講座を実施）

- (1) 研修登録者
54人（昨年度は53人登録）
- (2) 開催研修（会場は上越市教育プラザ大会議室）
（時間は13:30～15:30）

研修1 「ひきこもりを理解する～どうやったら社会につながるの?～」

- ① 日時：8月28日（日） 13:30～15:30
- ② 講師：上越教育大学大学院 臨床心理学コース教授 五十嵐透子 様
- ③ 参加者 44人
- ④ 主な内容
 - 「ひきこもり」とは？ ひきこもりに対する支援
 - 「自立」とは？ 自立と依存、自立と自律
 - 「不安」とは？ 闘争—逃走反応、従順—懐柔反応、不安症
 - 「じりつ」する力を高める対応の留意点、悪循環
 - 行動には、目的がある 動機付け、傾聴



講師：五十嵐透子 様



研修の様子

研修2 「支援者と家族の関係づくり～家族対応のヒント!～」

- ① 日時：9月10日(土) 13:30～15:30
- ② 講師：上越市教育委員会 学校教育課 梶原亜紀子 臨床心理士長
- ③ 参加者 42人
- ④ 主な内容
 - 情報の扱い方、カウンセリング技法、関わっていくこと、家庭とのつながり方
 - 話し手との関係性、戦略的な対話、「Yes set」、「聴く」の次は「伝える」
 - 家庭の基本情報、家族の構造・機能を知る、円環的因果律、表メッセージと裏メッセージ
 - 「治療抵抗」、家族支援のスタンス、多問題家族、地域の資源を知る
 - 関係機関紹介、「わたしのきろく」、福祉サービス、チーム・アプローチとリスクマネジメント
 - 足し算と引き算



講師：梶原亜紀子 臨床心理士長



研修の様子

研修3 「有効なひきこもり支援とは～家族・支援者ができること～」(予定)

実施日：10月23日(日) 講師：長岡崇徳大学 看護学部教授 齊藤まさ子 様

研修4 「それぞれの生き方に寄り添う支援～一人ひとりの自立とは～」(予定)

実施日：11月26日(土) 講師：みんなでいきる地域包括支援センター支援相談員 松田清司 様

研修5 「上越市のひきこもり支援の現状と課題」(予定)

実施日：12月17日(土) 講師：すこやかにくらし包括支援センター、浦川原地域包括支援センター、青少年健全育成センター

第1回センター運営協議会で小林会長より課題とされたこと

1 「一つ目は、街頭指導の在り方についてである。外で見かける子どもが少なくなった。異質なものを排除する方針の是非、パトロールの適切なコースと時期などを検討してほしい。」

・街頭指導班ごとに、平日は子どもが下校する時間やコースを考慮して巡回している、また、休日は子どもがいそうなところを巡回箇所になっているが、今後さらに各班の実情に合った巡回を工夫していく。

・「異質なものを排除する方針の是非」について育成委員協議会役員会で審議した。今までも、そしてこれからも街頭指導の方針は「異質なものの排除ではなく、愛の一声である」ことを確認した。

2 「二つ目は、多くの方がFitを活用できる方法である。困っている人をどう拾い上げるか、Fitまで来られない人をどうするか。若者支援に携わっている人から意見を聞いてほしい。」

・これまで若者支援に携わる方々にFitのPRをしてきた。その効果が徐々に表れてきて、このところ、若者支援に携わる方々からの紹介で、Fitに入って来る若者が増えている。

・時間がかかるが、公共交通機関と徒歩で通う方法を調べたり、家族の送り迎えの協力を得たりして利用者が通えるようにしている。